



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年10月25日

上場取引所 東

上場会社名 日本製罐株式会社

コード番号 5905 URL <http://www.nihonseikan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 正美

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長兼経営企画部長 (氏名) 鈴木 泰夫

TEL 048-665-1257

四半期報告書提出予定日 平成22年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	4,231	△9.7	△121	—	△99	—	△128	—
22年3月期第2四半期	4,683	△6.5	30	8.4	77	39.6	101	190.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	△11.11	—
22年3月期第2四半期	8.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	9,947	2,477	22.3	191.41
22年3月期	10,531	2,677	22.9	208.01

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 2,215百万円 22年3月期 2,407百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,870	△4.2	△20	—	25	86.0	10	△95.6	0.86

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 ― 社（社名 ）、除外 ― 社（社名 ）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 11,600,000株 22年3月期 11,600,000株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 24,169株 22年3月期 23,469株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 11,576,181株 22年3月期2Q 11,578,029株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）の3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
（１）連結経営成績に関する定性的情報	2
（２）連結財政状態に関する定性的情報	2
（３）連結業績予想に関する定性的情報	3
２．その他の情報	3
（１）重要な子会社の異動の概要	3
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
３．四半期連結財務諸表	4
（１）四半期連結貸借対照表	4
（２）四半期連結損益計算書	6
（第２四半期連結累計期間）	6
４．補足情報	7
生産、受注及び販売の状況	7

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①販売実績

当社グループの当第2四半期の売上高は、前年同四半期比452百万円、9.7%の減少となりました。

主力製品である18L缶は、鋼材価格の上昇に連動した販売価格の改定がありましたが、主要販売先の休業の影響等による販売数量の減少により売上高は前年同四半期比153百万円、5.2%の減少となりました。

美術缶は、前年同四半期が食品業界向け販売が好調であったのに対し、当四半期にはこの反動減、並びに輸出仕様となっている製品の急激な販売減少があり、売上高は前年同四半期比314百万円、21.3%の減少となりました。

その他の売上高は、前年度に開始した受託生産の売上が寄与し、同14百万円、6.5%の増加となりました。

製品別売上高推移

(単位:百万円、%)

	前年同四半期		当第2四半期		前年同四半期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
18L缶	2,981	63.7	2,827	66.9	△153	△5.2
美術缶	1,474	31.5	1,160	27.4	△314	△21.3
その他	227	4.8	242	5.7	14	6.5
計	4,683	100.0	4,231	100.0	△452	△9.7

②損益実績

売上高の減少により、売上総利益は前年同四半期比167百万円減少し442百万円となりました。

営業損益につきましては、販売費及び一般管理費の削減が15百万円にとどまった結果、前年同期比151百万円悪化し、121百万円の損失となりました。

経常損益につきましては、配当金収入は7百万円増加しましたがその他の収入の減少6百万円等により営業外収益が前年同四半期並みであったこと、支払利息は7百万円減少しましたが賃貸用不動産の修繕費(外装塗装工事)が発生し不動産賃貸費用が29百万円増加したこと等により営業外費用が25百万円増加したことから、99百万円の損失となり前年同四半期比176百万円の悪化となりました。

当第2四半期につきましては、「資産除去債務に関する会計基準」の適用に伴い、特別損失に、「資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額」13百万円、「環境対策費」(PCB含有廃棄物の処理費用)8百万円を計上いたしました。

この結果、四半期純損益は128百万円の損失となり、前年同四半期比229百万円の悪化となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①総資産は9,947百万円となり、前期末対比583百万円の減少となりました。

当四半期における主な増減要因は、以下のとおりであります。

- ・流動資産は、現金及び預金の減少215百万円、受取手形及び売掛金の減少329百万円、たな卸資産の増加36百万円等の要因で、497百万円の減少となりました。

- ・固定資産は、減価償却等による有形固定資産の減少45百万円、ソフトウェアへの投資等による無形固定資産の増加33百万円、時価の下落等による投資有価証券の減少47百万円等による投資その他の資産の減少74百万円等の要因で、86百万円減少しました。

②負債合計は7,469百万円となり、前期末対比384百万円の減少となりました。

当四半期における主な増減要因は、以下のとおりであります。

- ・流動負債は、支払手形及び買掛金の減少57百万円、賞与引当金の増加4百万円等がありましたが、有利子負債(短期借入金及び一年内返済予定長期借入金)の減少142百万円、未払法人税等の減少36百万円、設備関係未払金等の減少によるその他の流動負債の減少66百万円等の要因で、299百万円の減少となりました。

- ・固定負債は、有利子負債(社債及び長期借入金)の減少は2百万円に止まりましたが、退職給付引当金及び役員退職慰労引当金の減少37百万円、長期預り金の減少によるその他の減少31百万円、投資有価証券の時価下落に伴う繰延税金負債の減少20百万円等の要因で、84百万円減少しました。

③純資産合計は2,477百万円となり、前期末対比199百万円の減少となりました。

当四半期における主な増減要因は、以下の通りであります。

- ・株主資本は、四半期純損失128百万円・配当金の支払34百万円等の要因で、163百万円減少しました。

- ・評価・換算差額等は、株価の下落によるその他投資有価証券評価差額金の減少により28百万円減少しました。

④当第2四半期連結会計期間末の有利子負債残高(長短借入金、社債)は3,730百万円となり前連結会計年度末比では144百万円、前年同四半期末比では391百万円の減少となっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

イ. 売上高の見通し

商品別売上高見込表

(単位：百万円、%)

製品名	上期実績 (22. 4～22. 9)		下期見込 (22. 10～23. 3)		通期見込	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
18 L 缶	2,827	66.9	2,853	61.5	5,680	64.0
美術缶	1,160	27.4	1,490	32.1	2,650	29.9
その他	242	5.7	298	6.4	540	6.1
合計	4,231	100.0	4,639	100.0	8,870	100.0

(予想の内容)

18 L 缶については、取引先の廃業による減少と最近の需要状況を織り込んだ結果、下期の販売数量は上期比横ばい、売上高は上期の鋼材価格上昇に伴う販売単価改訂の影響があり上期対比26百万円の増加を計画しております。

美術缶については、上期に極端に減少していた輸出仕様の製品の回復が見込まれるため、売上高は同330百万円の増加を計画しております。

その他は、美術缶の付随品の数量増加を見込み、上期対比56百万円の増加を計画しております。

この結果、通期の売上高は8,870百万円で、前期対比392百万円、同4.2%の減少を予定しております。

ロ. 生産の見通し

販売予想にはばりリンクした推移を示す見込みであり、生産能力・体制に問題はありません。

ハ. 損益の見通し

通期業績見込においては、基本的に足許の収益環境実勢を踏まえており、損益見通しは以下の通りであります。

(単位：百万円)

	上期実績 (22. 4～22. 9)		下期見込 (22. 4～23. 3)		通期 (22. 4～23. 3)	
	個別	連結	個別	連結	個別	連結
売上高	3,193	4,231	3,587	4,639	6,780	8,870
営業利益	△112	△121	117	101	5	△20
経常利益	△89	△99	139	124	50	25
当期純利益	△120	△128	140	138	20	10

(注)業績見通しに織り込んだ事項

- ・上期には、18 L 缶、美術缶ともに急激な販売数量の減少があり、製造原価の上昇が収益の悪化要因となりましたが、下期には需要の回復による製造原価の削減を織り込んでおります。
- ・通期個別決算で、繰延税金資産の計上を見込み税金費用の圧縮を織り込んでおります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
会計処理基準に関する事項の変更	資産除去債務に関する会計基準の適用 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。 これにより、営業利益及び経常利益は、それぞれ175千円減少し、税金等調整前四半期純利益は13,993千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は14,855千円であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	979,420	1,195,212
受取手形及び売掛金	2,440,018	2,769,450
商品及び製品	96,472	101,011
仕掛品	412,772	382,699
原材料及び貯蔵品	182,105	170,854
繰延税金資産	50,116	50,116
その他	32,472	23,235
貸倒引当金	△6,587	△8,766
流動資産合計	4,186,790	4,683,814
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,346,705	5,287,333
減価償却累計額	△3,118,137	△3,036,769
建物及び構築物（純額）	2,228,567	2,250,564
機械装置及び運搬具	6,292,249	6,308,425
減価償却累計額	△5,498,209	△5,490,531
機械装置及び運搬具（純額）	794,039	817,894
土地	248,511	248,511
リース資産	70,359	78,190
減価償却累計額	△33,104	△33,706
リース資産（純額）	37,255	44,483
建設仮勘定	49,994	47,748
その他	422,561	400,526
減価償却累計額	△363,395	△346,371
その他（純額）	59,165	54,154
有形固定資産合計	3,417,534	3,463,357
無形固定資産		
リース資産	3,482	4,781
その他	127,765	93,162
無形固定資産合計	131,247	97,944
投資その他の資産		
投資有価証券	1,320,427	1,367,546
賃貸不動産	1,494,958	1,496,202
減価償却累計額	△617,533	△594,900
賃貸不動産（純額）	877,424	901,301
長期貸付金	3,018	5,865
その他	10,904	11,476
投資その他の資産合計	2,211,774	2,286,189
固定資産合計	5,760,555	5,847,490
資産合計	9,947,346	10,531,305

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,379,147	2,437,122
短期借入金	1,260,000	1,412,000
1年内返済予定の長期借入金	865,000	855,000
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
リース債務	14,182	15,619
未払法人税等	7,820	44,730
賞与引当金	101,571	96,680
その他	385,198	451,708
流動負債合計	5,072,919	5,372,860
固定負債		
社債	30,000	60,000
長期借入金	1,515,000	1,487,000
リース債務	26,555	33,646
繰延税金負債	466,974	487,476
退職給付引当金	149,444	167,400
役員退職慰労引当金	82,831	102,651
資産除去債務	14,924	—
その他	110,902	142,673
固定負債合計	2,396,632	2,480,848
負債合計	7,469,552	7,853,708
純資産の部		
株主資本		
資本金	630,000	630,000
資本剰余金	136,773	136,773
利益剰余金	1,119,708	1,283,103
自己株式	△3,523	△3,455
株主資本合計	1,882,959	2,046,421
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	332,798	361,568
評価・換算差額等合計	332,798	361,568
少数株主持分	262,036	269,606
純資産合計	2,477,794	2,677,596
負債純資産合計	9,947,346	10,531,305

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	4,683,935	4,231,045
売上原価	4,074,570	3,788,732
売上総利益	609,364	442,312
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	176,447	172,858
従業員給料及び手当	134,754	124,336
役員報酬	49,742	50,588
支払手数料	55,019	49,961
減価償却費	20,462	25,231
役員退職慰労引当金繰入額	8,525	10,980
賞与引当金繰入額	28,984	27,391
その他	105,338	102,531
販売費及び一般管理費合計	579,272	563,878
営業利益又は営業損失 (△)	30,092	△121,566
営業外収益		
受取利息	451	240
受取配当金	18,385	25,708
不動産賃貸料	110,656	110,726
その他	12,542	5,879
営業外収益合計	142,036	142,555
営業外費用		
支払利息	43,418	35,833
手形売却損	3,660	4,268
不動産賃貸費用	47,142	76,282
その他	664	4,039
営業外費用合計	94,885	120,423
経常利益又は経常損失 (△)	77,243	△99,434
特別利益		
固定資産売却益	1,097	—
投資有価証券売却益	25,053	12
貸倒引当金戻入額	360	2,179
その他	—	195
特別利益合計	26,511	2,387
特別損失		
固定資産除却損	10,532	4,101
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	13,817
環境対策費	—	8,612
その他	126	135
特別損失合計	10,658	26,667
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	93,095	△123,713
法人税等	700	10,537
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	—	△134,251
少数株主損失 (△)	△8,622	△5,586
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	101,018	△128,664

(４) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(５) セグメント情報

当社グループは、製缶事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(６) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

４．補足情報

生産、受注及び販売の状況

(１) 生産実績

当第２四半期連結累計期間の生産実績を単一セグメント内の商品別に示すと次のとおりであります。

単一セグメント内 商品区分	当第２四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日)	前年同四半期比 (%)
18L缶（千円）	2,772,033	94.7
美術缶（千円）	1,226,245	81.3
その他（千円）	242,444	106.5
計（千円）	4,240,724	90.9

(注) 金額は販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。

(２) 受注状況

当第２四半期連結累計期間における受注状況を単一セグメント内の商品別に示すと次のとおりであります。

単一セグメント内 商品区分	受注高（千円）		受注残高（千円）	
	当第２四半期 連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日)	前年同四半期比 (%)	当第２四半期 連結累計期間末	前年同四半期比 (%)
18L缶	2,843,532	94.5	472,875	93.9
美術缶	1,127,173	74.1	220,797	80.9
その他	246,335	104.7	34,165	99.1
計	4,217,042	88.5	727,838	89.7

(注) 金額は販売価格によっており、消費税等は含まれておりません。

(３) 販売実績

当第２四半期連結累計期間の販売実績を単一セグメント内の商品別に示すと次のとおりであります。

単一セグメント内 商品区分	当第２四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日)	前年同四半期比(%)
18L缶（千円）	2,827,896	94.8
美術缶（千円）	1,160,703	78.7
その他（千円）	242,444	106.5
計（千円）	4,231,044	90.3

(注) 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。